

年末年始の行動・意識調査について

～外出意欲が高い人ほど“感染症不安”が大きい結果に
20代は活動的になる年末年始、女性は「免疫力」に対する感度・行動が高スコア～

キリンホールディングス株式会社（社長 磯崎功典）は、20歳以上の2,386名を対象に、年末年始の行動・意識に関する調査を実施しました。

■ポイント

【年末年始の行動・意識調査】

- 外出日数は10～11月時点で週4日以上が60%超え。週6日以上も約40%となった。
年末年始にかけて外出日数が増えると答えた割合は20代が最も多く、45.7%となった。
- 外出意向が高い人は55.8%、低い人は6.1%と、外出意向は高い結果に。
- 感染症不安が大きいと回答した人は、外出意欲の低い人で63.9%、外出意向が高い人で70.3%となった。
自由記述から、外出意向の高い人は行きたい場所・イベントが明確である一方、行き先の人の多さに対して不安を感じていることが伺える。
- 感染症不安は、主に「密な空間」や「感染者の増加」に起因。
感染症不安を感じる場面で男女差が最も大きいのは、「免疫力が落ちているとき」。女性の方が免疫を意識する傾向がある。
- 体調管理／感染症予防の考えや行動に当てはまるものは、1位「手洗い・うがい・マスクの着用」（92.7%）、2位「規則正しい生活」（59.6%）、3位「適度な運動」（37.0%）、4位「免疫力に関する情報収集」（16.2%）となった。「免疫力の情報収集」は、30～40代女性でスコアが高い。自らの健康管理だけでなく、家族を守る立場の人も多いと思われることから、高スコアになったと考えられる。
- 年末年始に行きたいこと1位は「自宅でゆっくり過ごす」（21.8%）、2位は「初詣に行く」（20.6%）となった。3位の「国内旅行」（14.6%）は全国旅行支援の影響も考えられる。20代は、イベント参加、スポーツ観戦、友人知人の家に行くなど、活動的な予定が多い。
- 年末年始の外食は、少人数（4人以下）での実施意向が62.5%と過半数を超えた。年代別にみると、特に20代で外食の実施意向が強く、約40%が具体的な予定を立てている。
- 外食店に求めるものは「感染症対策」が上位を占め、特に年代が上がるほどその傾向が強い。20代は、「話題のお店」「コロナ禍前に行きたいと思っていたお店」などのスコアが高い。

調査概要：「年末年始の行動・意識調査」

対象：全国20歳以上の男女 有効回答数2,386名

調査方法：インターネット調査

調査期間：2022年11月15日（火）～11月22日（火）

※四捨五入のため、合計値が必ずしも一致しない場合があります。

キリングroupは、自然と人を見つめるものづくりで、「食と健康」の新たなよろこびを広げ、こころ豊かな社会の実現に貢献します。

※当リリースを引用する場合は、「「年末年始の行動・意識調査」「免疫に関する意識調査」2022年11月実施」と記載ください。

※添付資料：調査結果詳細 <4枚>

（お客様お問い合わせ先）

キリンホールディングス株式会社 お客様相談室（フリーダイヤル）0120-770-502

企業情報 Web サイト <https://www.kirinholdings.com/> 商品・サービス情報 Web サイト <https://www.kirin.co.jp/>

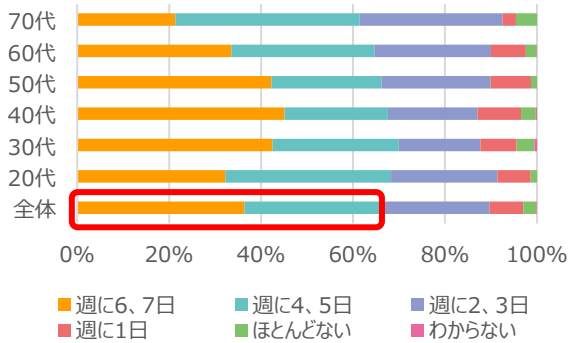
調査結果

1、外出頻度・感染症への不安について

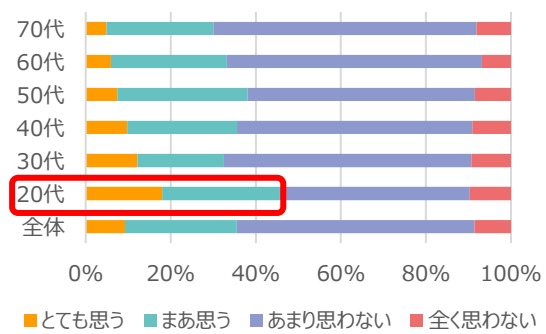
■ 10～11月の外出は週4日以上が60%超。12～1月に外出日数が増えると答えた割合は20代で45.7%

- ・10～11月の外出日数は週4日以上が60%超え。週6日以上も約40%となった。
- ・年末年始にかけて外出日数が増えると答えた割合は20代が最も多く、45.7%となった。20代は活動的な年末年始が予想される。

10月中旬～11月中旬で、外出する日数は、週に何日ですか？



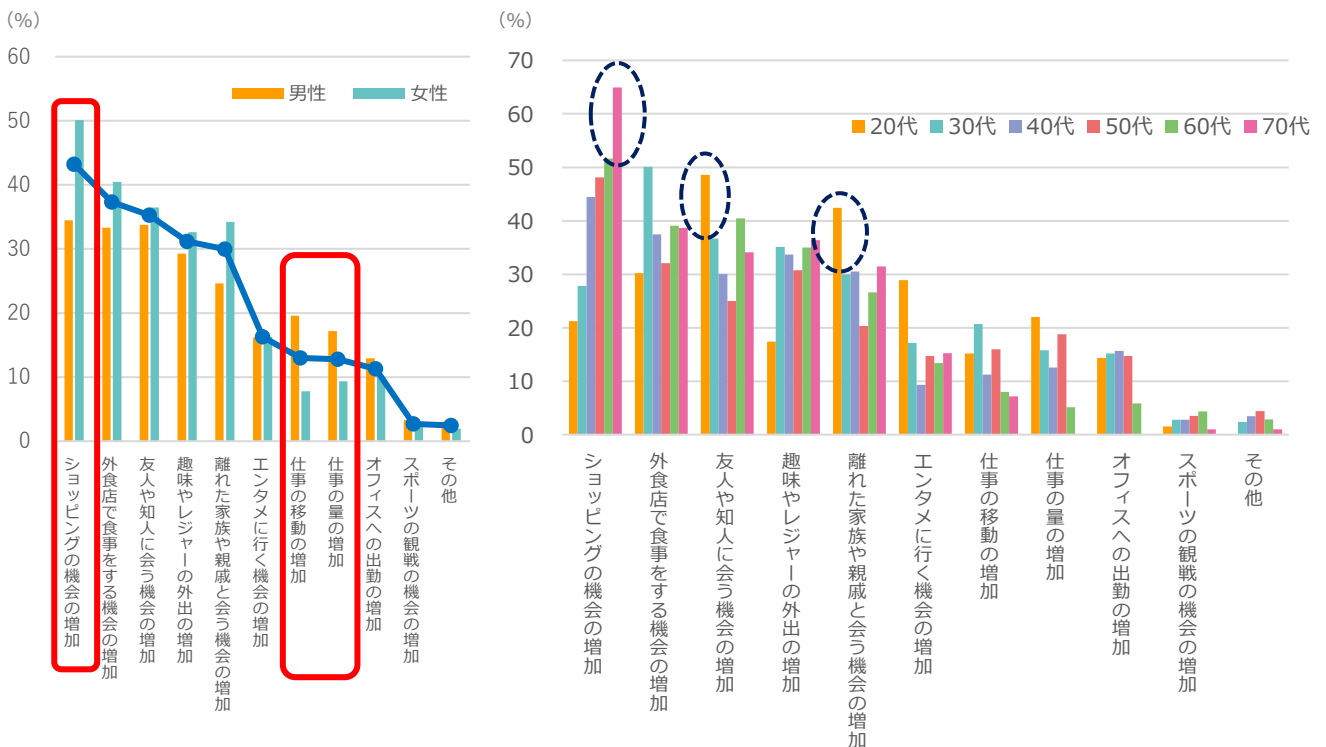
12月～1月にかけて、外出する日数は増えると思いますか？



■ 外出する日数増加の理由は「ショッピング機会の増加」が1位。男性は仕事に関連するスコアが女性より高い

- ・外出日数が増えると回答した人に、外出機会の増加理由を尋ねたところ、「ショッピング機会の増加」(43.2%)が1位になり、女性は50.1%と半数を超えた。男性は「仕事の移動の増加」(19.6%)、「仕事の量の増加」(17.2%)が女性と比較してスコアが高い。
- ・年代が高いほど「ショッピング機会の増加」のスコアが高く、低いほど「友人や知人と会う」「離れた家族や親戚と会う」スコアが高い。

外出する日数が増えると思う理由はなぜですか？(複数選択可)

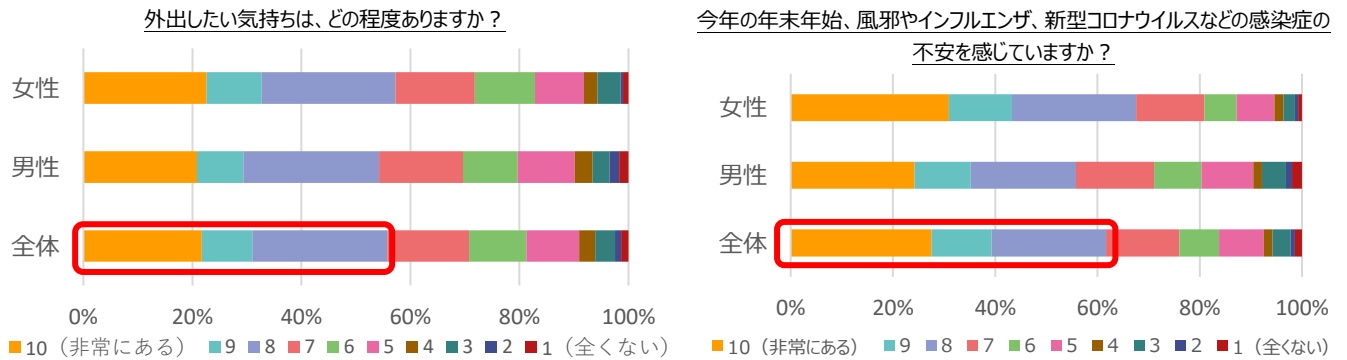


■ **外出意向は 50%を超える。同時に感染症不安も 60%を上回る**

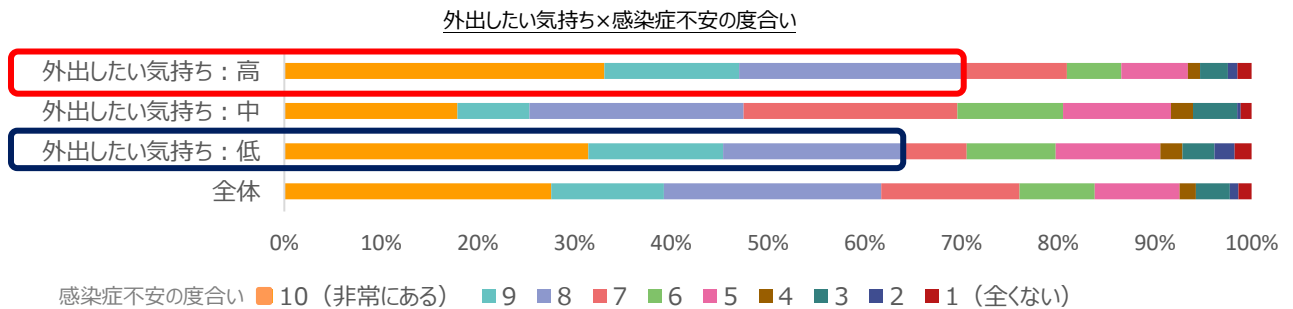
・外出意欲が強い方は全体の 55.8%、低い人は 6.1%と、外出意向は高い。

一方で感染症不安は 60%以上の方が抱えている。外出意欲、感染症不安は、ともに年代が高くなるほどスコアが高い。

※外出したい気持ちの度合いへの回答として、外出したい気持ち：高（10～8）、外出したい気持ち：中（7～4）、外出したい気持ち：低（3～1）、と定義



・感染症不安は、外出意欲が低い人より、外出意欲が高い人の方が大きい結果に。自由記述から、外出意向の高い人は行きたい場所・イベントが明確である一方、行き先の人の多さに対して不安を感じていることが伺える。

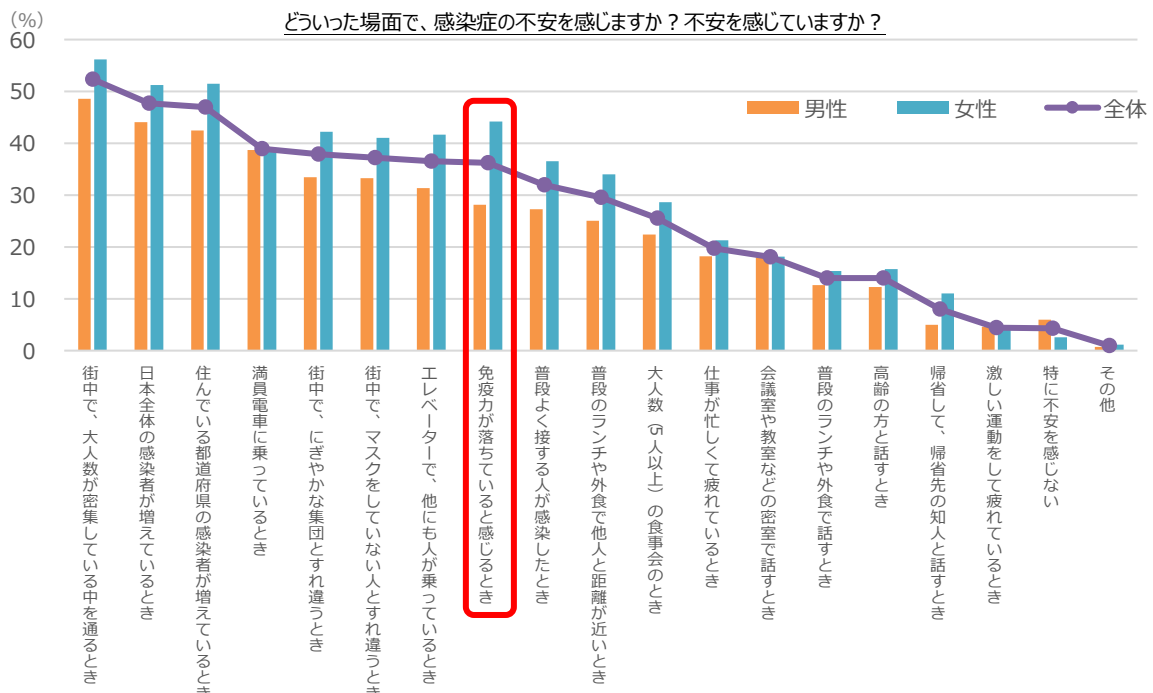


■ **感染症不安を感じるのは、「密な空間」や「感染者の増加」に起因。**

男女差が最も大きいのは、「免疫力が落ちているとき」。女性の方が免疫を意識する傾向がある。

・感染不安は「街中で、大人数が密集している中を通るとき」をはじめ、密な空間にいるときにスコアが高い。また「感染者数が増えているとき」にも感染不安のスコアが高くなっている。

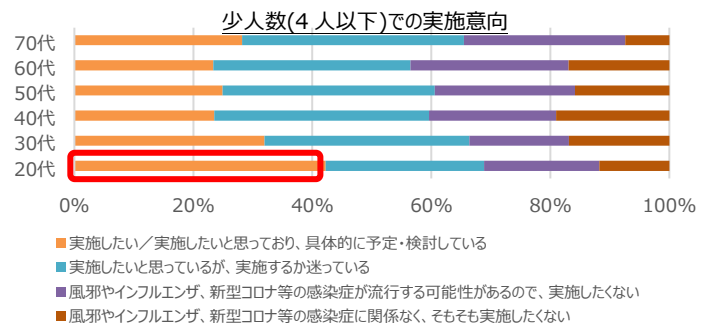
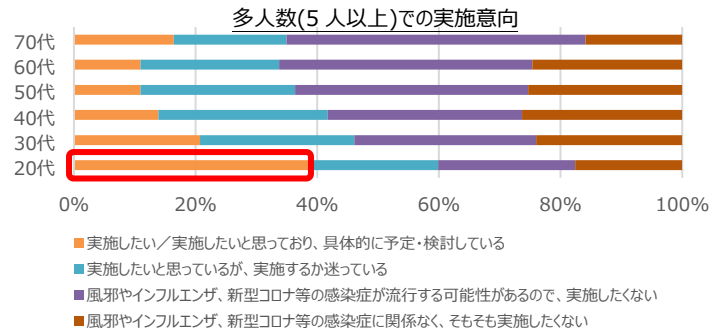
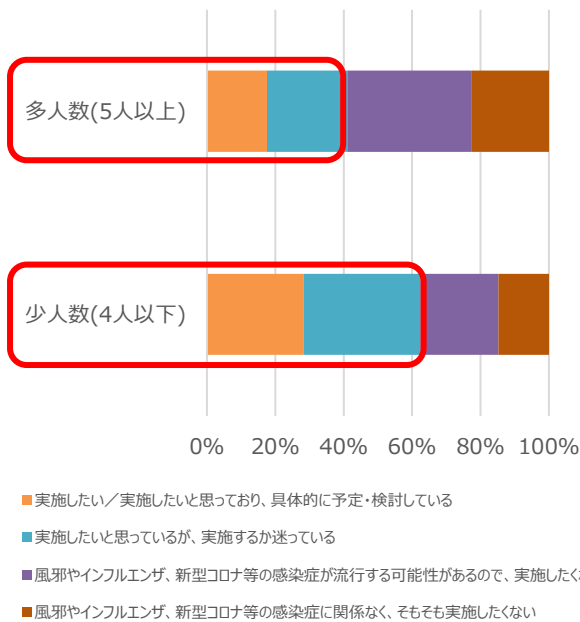
・全体的に感染症の不安は女性の方が強く感じている。特に「免疫力が落ちていると感じるとき」は男女で 16%以上の開きがある。



■ 年末年始の外出食は、4 人以下での実施意向が強い。20 代は実施意向が強く、約 40%が具体的に予定

・年末年始の外出食は、少人数（4 人以下）での実施意向が 62.5%と過半数を超えた。20 代は外出の実施意向が強く、少人数・大人数共に約 40%が具体的に予定を立てている。年末年始での外出食を通じた交流増が予想される。

今年の年末・年始は、少人数(4 人以下)、大人数（5 人以上）での外出食を実施したいと思いますか？



・「今したい外出食」を尋ねたところ、男女ともに「隣の席との距離が十分である」（44.6%）がトップ。2 位は「換気がしっかりしているお店」（39.9%）、3 位は「個室」（36.7%）と感染症対策が重要視されている。年代が上がるほど、その傾向は強い。

- ・男性は「お酒を伴った外出食」、女性は「料理が小分けででてくる」を好む傾向にある。
- ・20 代は、「話題のお店」「コロナ禍前に行きたいと思っていたお店」などのスコアが高い。

今したい外出食は、次のうちどれですか？（複数回答可）

